

## VI 浜松市外企業への就職者の意識・実態調査

### 1. 実態調査の概要

#### (1) 調査目的

本調査は、UIターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するための基礎的データを、浜松市外へ就職した者より収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

#### (2) 調査対象

浜松市を含む静岡県出身者、並びに愛知県豊橋市の出身者、若しくは浜松市内の高校または大学に通学した者で、「浜松市外の企業に勤務」している、200人を抽出。

#### (3) 調査方法

平成28年3月11日～3月17日、インターネットリサーチ会社のWebモニターを利用したWEBアンケート調査を実施。

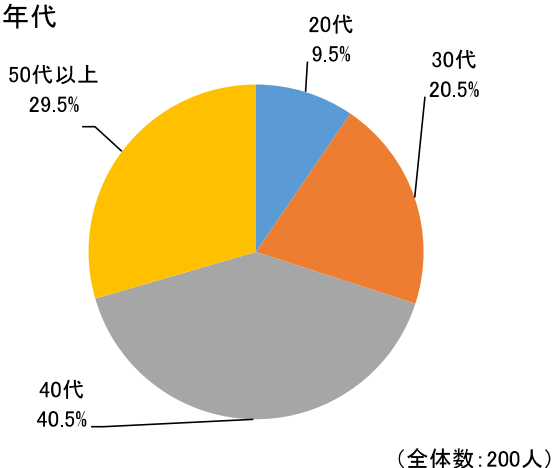
#### (4) 回収状況

全体200人 男性100人、女性100人。

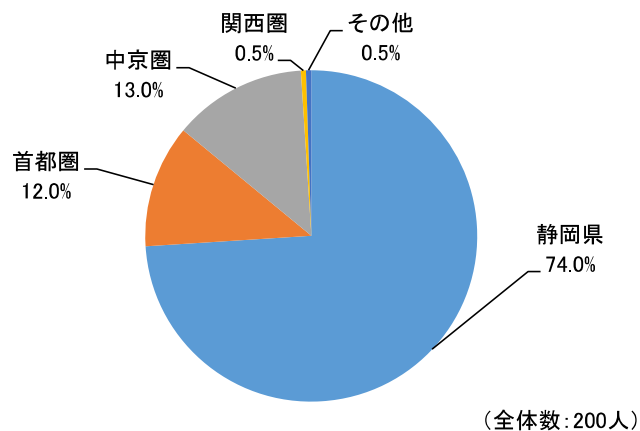
#### (5) 属性

調査対象者の属性は次の通りである。

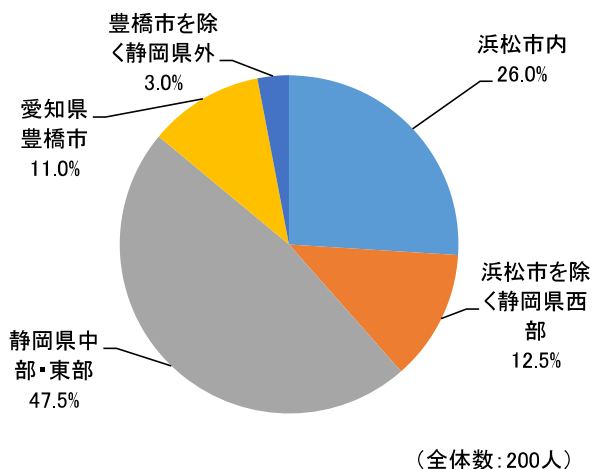
##### ア. 年代



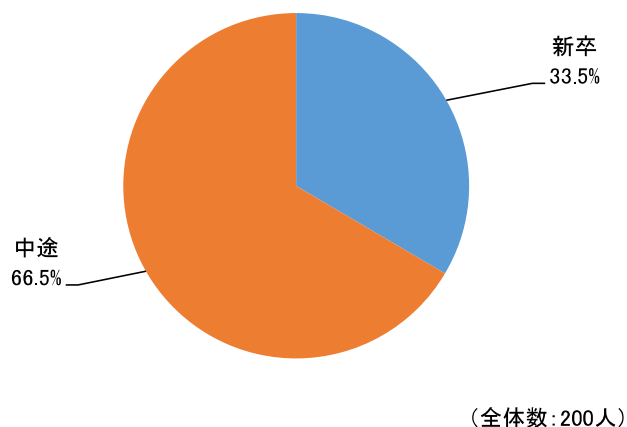
##### イ. 勤務地域



##### ウ. 出身地域



##### エ. 採用区分

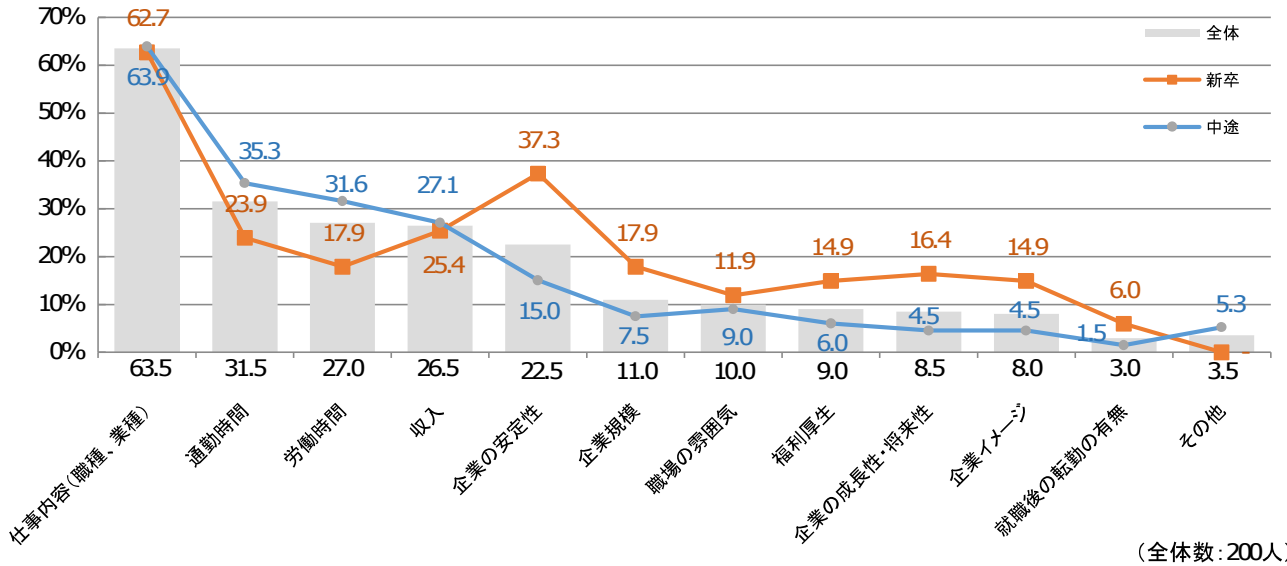


## 2.実態調査結果

- 勤務先を選択する時の重視点について割合が最も高いのは、「仕事内容(職種、業種)」(63.5%)である。次いで「通勤時間」(31.5%)、「労働時間」(27.0%)、「収入」(26.5%)と続く。「新卒」は「企業の安定性」(37.3%)が「中途」より突出して高く、また他の項目も「中途」より重視する傾向がある。

図表39 採用区分別の勤務先選択時の重視点(複数回答)

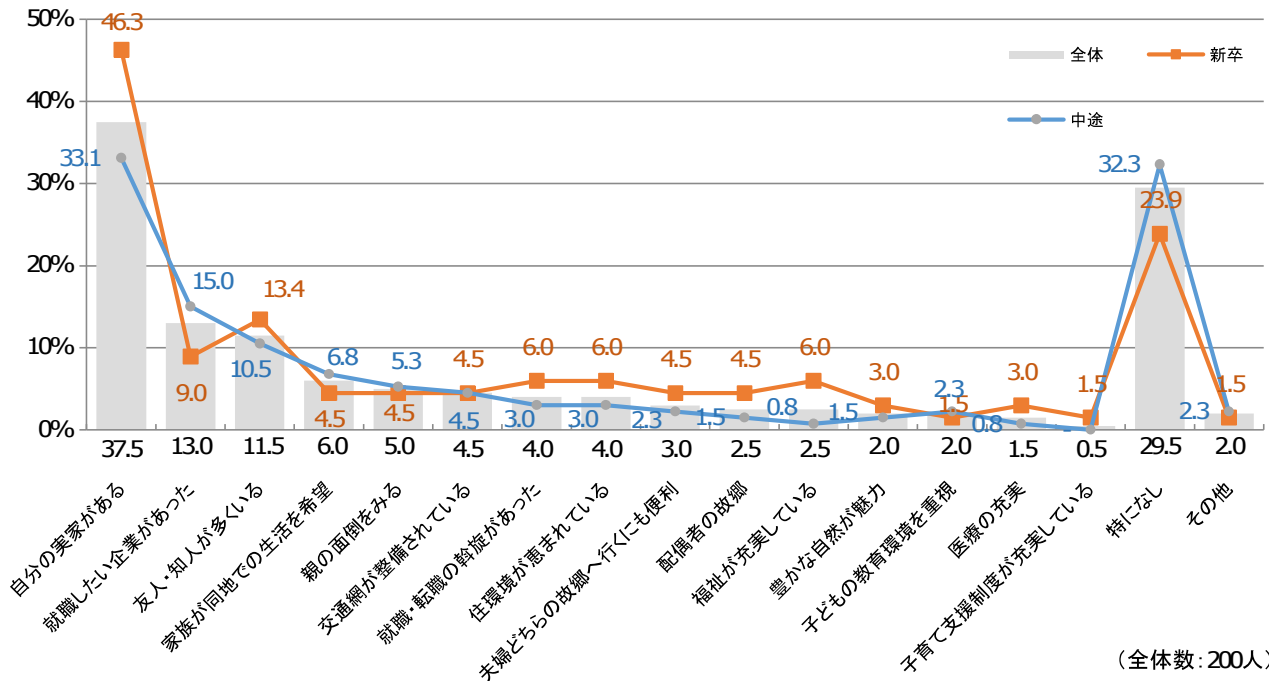
(%)



- 現在の勤務先地域を選択した理由について割合が最も高いのは、「自分の実家がある」(37.5%)である。次いで「特になし」(29.5%)、「就職・転職したい企業があった」(13.0%)と続く。

図表40 採用区分別の現在の勤務先地域を選択した理由(複数回答)

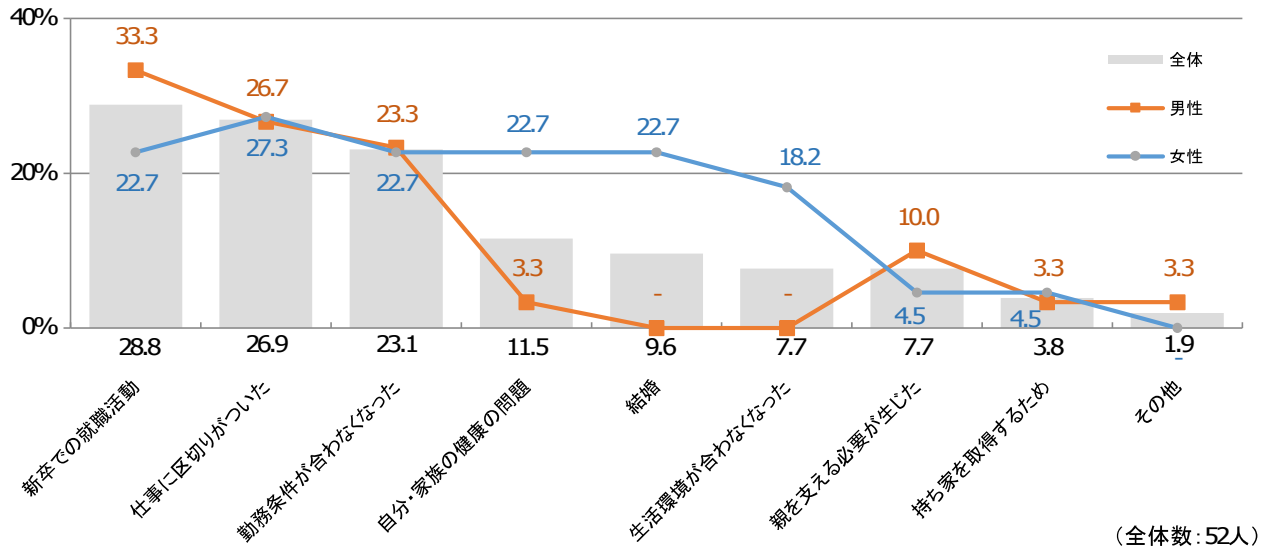
(%)



- 浜松市出身者が浜松市外企業に就職を考えたきっかけについて割合が最も高いのは、「新卒での就職活動」(28.8%)となる。次いで「それまでの仕事に区切りがついた」(26.9%)、「勤務の内容・条件が合わなくなった(勤務時間・給与・通勤等)」(23.1%)と続く。「女性」は「自分・家族の健康問題」(22.7%)、「結婚」(22.7%)、「生活環境が合わなくなった」(18.2%)の3項目が男性より高くなっている。

図表41 男女別の浜松市外の勤務先への就職を考えたきっかけ(複数回答)

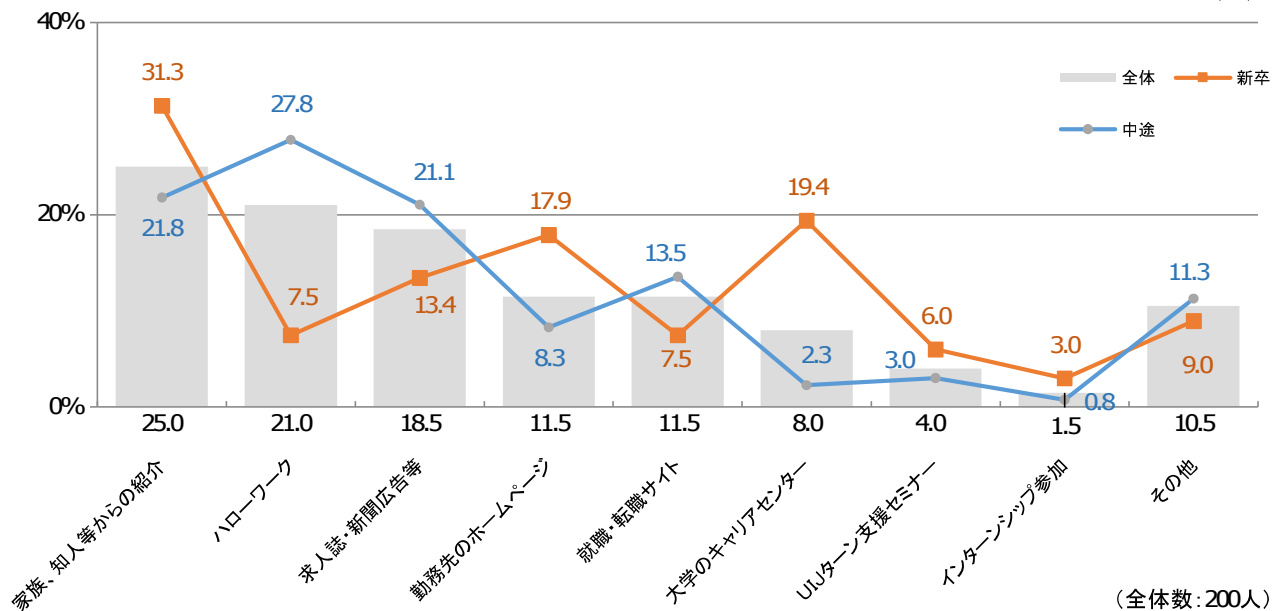
(%)



- 現在の勤務先認知経路について最も割合が高いのは、「家族、親族、知人等からの紹介」(25.0%)となる。次いで「ハローワーク」(21.0%)、「求人誌・新聞広告等」(18.5%)と続く。中途は「ハローワーク」(27.8%)が最も高い。

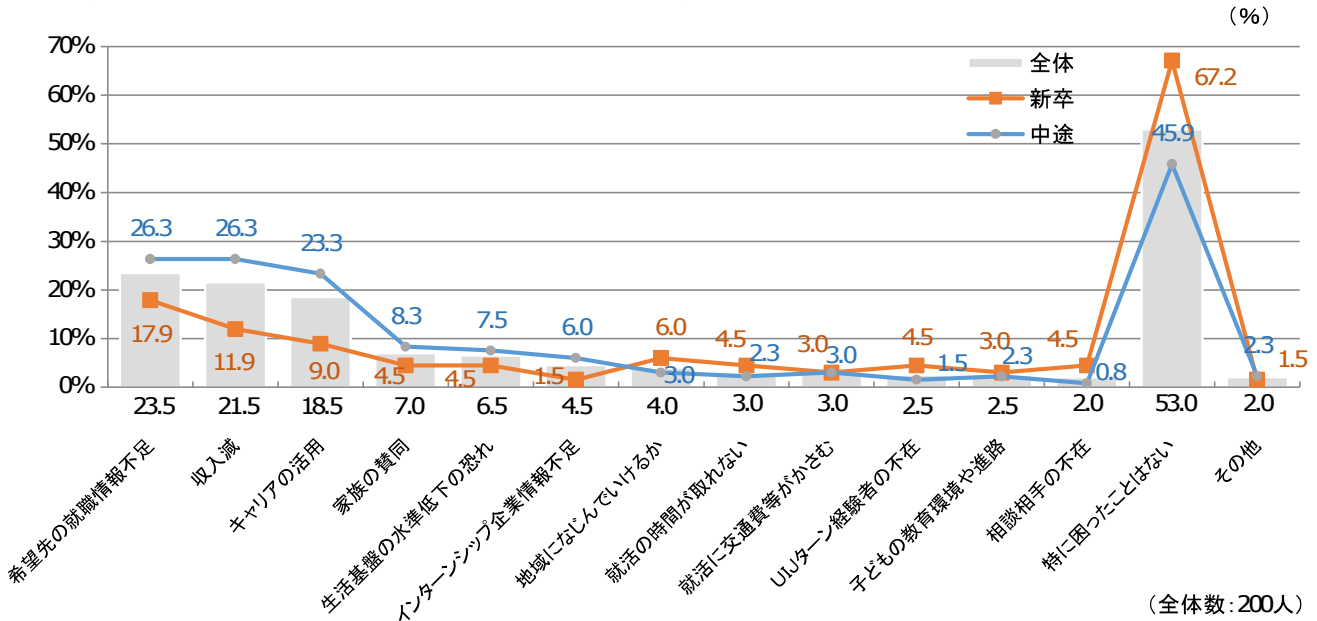
図表42 採用区分別の現在の勤務先認知経路(複数回答)

(%)



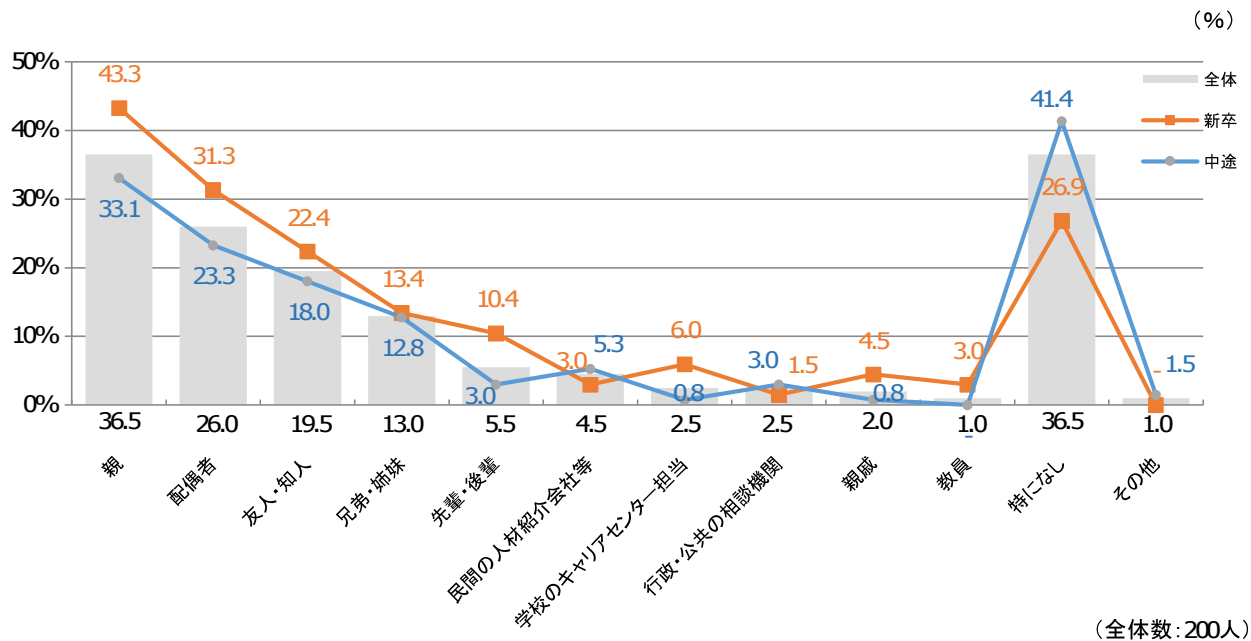
●就職・転職時に困った点については、「特に困ったことはない」(53.0%)が過半数を占める。次いで「就職希望先の就職情報不足」(23.5%)、「収入減」(21.5%)と続く。「中途」は全般的に「新卒」よりも数値が高くなっている。

図表43 採用区分別の就職・転職時に困った点(複数回答)



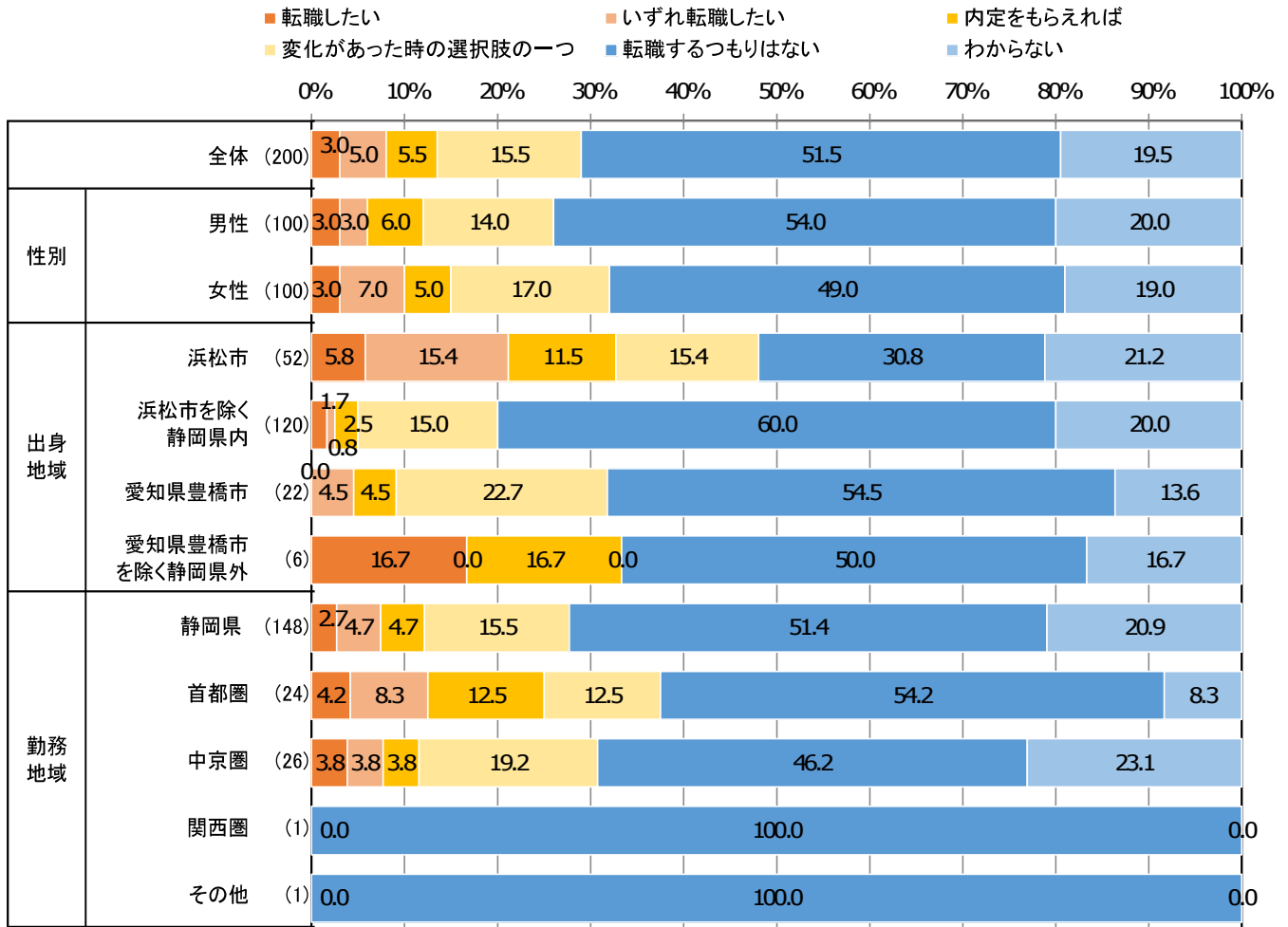
●就職・転職時に相談する相手について最も高いのは、「親」(36.5%)、「特になし」(36.5%)、次いで「配偶者」(26.0%)、「友人・知人」(19.5%)と続く。

図表44 採用区分別の就職・転職時の相談相手(複数回答)



●浜松市内企業への転職意向については、「転職するつもりはない」(51.5%)が最も高い。次いで「わからない」(19.5%)、「仕事・暮らしに変化があった時の選択肢の一つ」(15.5%)と続く。ただし、浜松市出身者の48.1%が、機会があれば転職したいと考えている。

図表45 男女別、出身地域別、勤務地域別の浜松市内企業への転職意向



(人)

(全体数: 200人)

●浜松市への定住促進の方策について、最も割合の高い項目は、「企業誘致等による働く場の増加」(48.5%)となる。次いで「子育て環境の充実」(34.5%)、「交通網の整備」(30.5%)、「福祉環境の充実」(30.5%)と続く。

図表46 男女別の浜松市定住促進への重視点(複数回答)

